



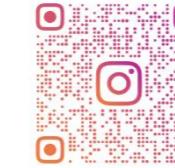
てらぴあぽけっと 板橋駅前通信



教室ウェブサイト



LINEで問い合わせ



インスタグラム



空き情報

8月号

てらぴあぽけっと 板橋駅前教室

子どもたちの成長の瞬間！

利用されているお子さんが、療育を受け始めたきっかけや、その後の様子についてをどのように療育を計画してきたかを交えて、ご紹介します。

「せんせい」と呼ぶ言葉



今月の活動テーマ

みんないっしょにうごくよ

先生の言葉や合図で動く。他の友達の動きを見て、合わせて動く。

観察学習や「いっせーのせ！」など、人がつくるきっかけで一緒に動いて、遊び、活動します。

困った行動。大きな声編

どんなタイミングで声が出やすいでしょうか？ 例えば…

- ・遊びや活動に飽きて退屈しているとき
- ・嫌なことがあって不満や不快を感じたとき
- ・遊びで興奮してテンションが上がったとき

こうした場面では、止めようとしてもさらに声が大きくなることがあります。

基本的な考え方としては、

1. 声を止める事だけでなく、新しい方法を学ぶほうが効果的です。
2. 幼児期は大きな声以外の他の手段を知らない場合があります。

おうちセラピー

子供の大きな声、どうしたらいい？

大きな声が出るタイミング

- ・退屈している時
 - ・嫌な事があった時
 - ・遊びで興奮している時
- 声を止めるより
新しい方法を学ぶ



幼児期は他の方法を未学習の事が多い

3つのアプローチ



先月の活動テーマ

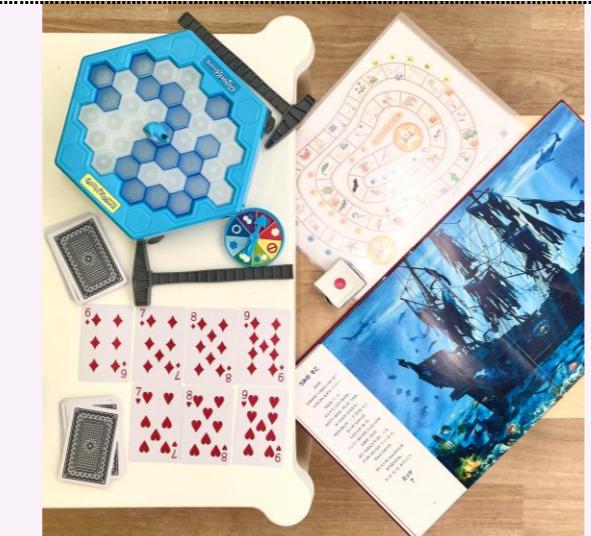
◆7月は「おともだちをさそってみよう」という活動テーマでした。

年長さんは、自分から友達を誘ったり、誘われた遊びを受け入れたりする姿が見られました。

年中さん以前の子は、「入れてって言ってごらん」と促され、実際に参加する経験をしました。

年少さん以下は、友達が手を洗っていたら順番を待つ、セラピーで隣の子が終わるまで待つなど、自然な社会的行動が見られました。

個別療育の中でも、一緒に過ごすお友達。自然な場面で子どもたちの成長を感じられるひと月でした。



絵探し、キャッチボール、すごろく、トランプ。
ルールの学習と、コミュニケーションの療育を併せて行い、実践と学習を結びつけていきます。

知ってる？発達支援Q&A

地域にある、子育て支援と共に、児童発達支援をお役立て頂く目的でサービスや豆知識を紹介していきます。

北区児童発達支援センター

地域の発達支援の中心になっている場所で、私達も研修などでお世話になることがあります。区ごとに設置されています。療育利用前の初めての相談だけではなく、発達検査や相談支援なども行っています。手続きが無いと、行けないのかなと思われがちですが、基本的には保護者様が困った事があったときに、相談すると、サポートが受けられる場所を紹介してくださいます。



↓北区ウェブサイト↓

連絡先 03-3913-8841 (代表)

所在地 東京都北区王子6-7-3
(子ども家庭支援センター隣)

**今月～来月の活動予定**事業所内研修

法人内研修では、感覚についての勉強会が企画されています。子どもは感覚から発達し、経験が増えていくことで認知がだんだん育っています。

感覚統合について

「体の動きが見えなくても感じられるのはなぜ？」「走ったり、ジャンプしながらでも物や人を見続けられるのはなぜ？」などについて、学びます。

共同制作...お月見

今年の十五夜は9月6日ごろだそうです。きっと残暑の頃になるだろうと思いますが、夜がだんだん清々しくなっていく時期もあります。

緊急連絡訓練

迅速に災害時の安全確保、復旧が行えるように、災害時の事業所内、法人内の連絡訓練を行います。

夏休みももうすぐ終わります。子どもたちからお出かけの話も聞かれ、暑かったですが、良い経験をたくさんしていただいたのではないかと思います。

毎年、新年度からあっという間に迎える夏休みですが、夏休み以降の子どもたちの成長は、毎年驚かされることがあります。

その成長をさらなるバネにして、みなさんと一緒に2学期へ向かいたいと思います。

就学前のお子様はこれからその準備が進んでいく時期になります。ご心配なことやわからないことがあれば、私達にも気軽に相談してください。